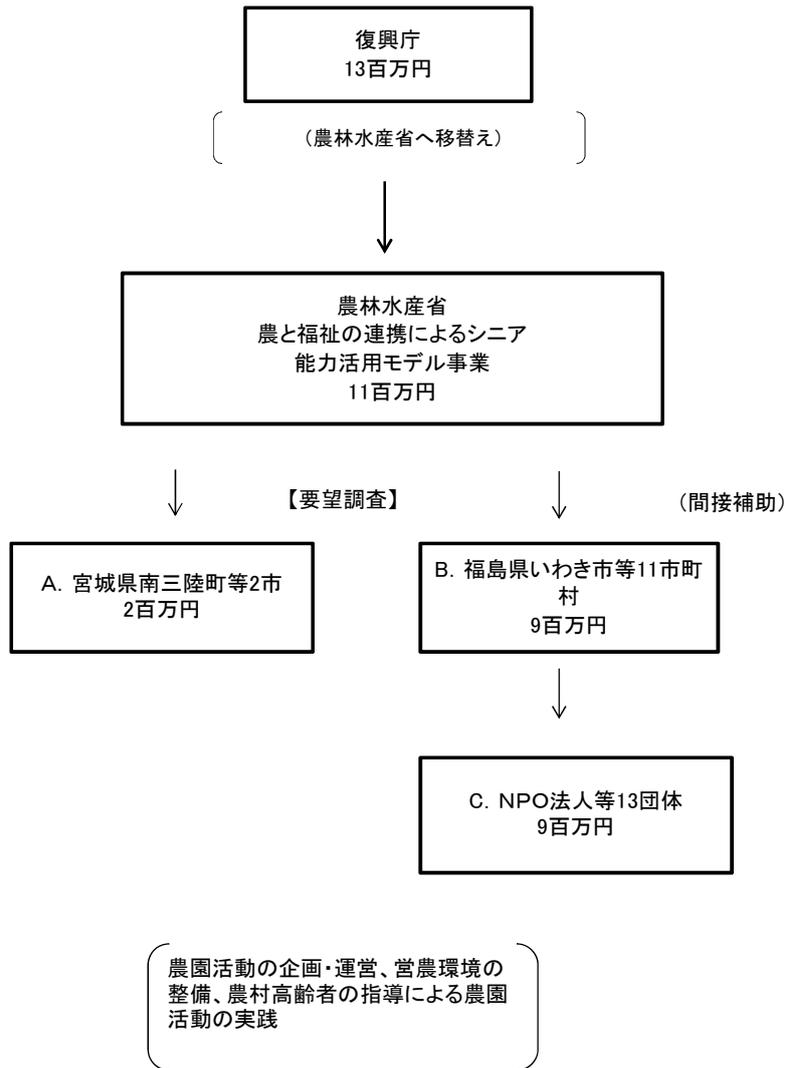


平成25年行政事業レビューシート (復興庁)									
事業名	農と福祉の連携によるシニア能力活用モデル事業 (復興関連事業)		担当部局庁	復興庁	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官 大野 秀敏				
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	食料・農業・農村基本計画、東日本大震災からの復興の基本方針					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災地において市町村等が農園を設置し、仮設住宅入居者等が参加して行う営農活動を実施し、これに対し近隣の高齢農業者等が技術指導を行う取組をモデル的に実施することにより、①農村高齢者の活動・就労の場の確保、②農と福祉の連携による新しい営農・雇用形態の創出、③被災者に対し農作業を通じた心身のケアの提供に資する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記の事業目的を達成するため、 ①仮設住宅入居者等が協働で行う営農活動の企画・運営、②高齢者等が農作業をしやすい軽労力化営農環境の整備、③農園活動の実践、④先進・熟練農家等による農業技術指導等を支援 補助率:定額								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	括弧内は農水省が計上した同様の事業(農水省0163農と福祉の連携によるシニア能力活用モデル事業(復興関連事業))の予算額を参考記載しているもの	-	13	-	-		
		補正予算		84	-	-			
		繰越し等		-	-	-			
	計		84	13	-	-			
執行額		23	11	-	-				
執行率(%)		27.4%	84.6%	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (32年度)	
	○農地面積のうち販売農家が担う面積の割合			成果実績	%	-	69.1 (70.2)	68.2 (70.0)	-
	達成度			%	-	(おおむね有効)	(おおむね有効)	-	
	○農地面積のうち集落営農が担う面積の割合			成果実績	%	-	11.0 (12.0)	11.0 (12.7)	-
達成度			%	-	(おおむね有効)	(有効性の向上が必要)	-		
中間成果指標及び実績	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	○営農活動参加者及び就労した農村高齢者に占める満足した者の割合 (目標値:23年度70%、24年度80%)			成果実績	%	-	86 (70)	83 (80)	-
	達成度			%	-	123	104	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	○営農活動参加者数			活動実績 (当初見)	人	-	568 (540)	735 (950)	-
単当たりコスト	(24年度)727 (千円/地区) (23年度)2,107 (千円/地区)			算出根拠	(24年度)単当たりコスト(727千円)=執行額(10,913千円)÷取組地区数(15地区) (23年度)単当たりコスト(2,107千円)=執行額(23,176千円)÷取組地区数(11地区)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	計	-	-						

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・営農の継続を断念せざるを得ない高齢者の豊富な経験や知識、技術を活かせる場をつくることや、被災者に対する福祉の充実等の被災地ニーズを踏まえた事業であり、当該被災地の市町村等に対し国が支援すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	・被災地の市町村に対し要望調査を実施し、要望があった計画の妥当性を審査し事業実施主体を選定。一部の事業実施主体において事業の廃止申請等があり執行率が90%未満となった。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・活動実績(営農活動参加者数)が、事業の廃止申請等により目標を下回った。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	－			
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	若者から高齢者まで地域の持てる力を結集し復興に取り組む必要があり、営農の継続を断念せざるを得ない高齢者の豊富な経験や知識、技術を活かせる場をつくる必要がある。また、仮設住宅入居者の孤立が懸念されるなど被災者に対する福祉の充実が喫緊の課題等から被災地ニーズを踏まえた事業であり、当該被災地の市町村等に対し国が支援すべき事業である。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-					
	平成24年度予算までで所要額が計上されているため、平成25年度以降予算計上をしていない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
	平成24年度予算までで所要額を計上したことから、平成25年度以降予算計上をしていない。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		
				平成24年	
				64	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する)(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.宮城県南三陸町					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	種苗費、肥料費等	0.3			
賃金	農作業指導者賃金	0.5			
委託費	農園整備	0.0			
施設等整備費	管理機等	0.7			
計		1.5	計		
B.福島県いわき市					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	間接補助	1.9			
計		1.9	計		
C.NPO法人まちづくり・ぐるっとおおつち					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	種苗費、肥料費	1			
賃金	農作業指導者賃金	0.5			
施設等整備費	刈り払い機等	0.3			
計		1.4	計		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮城県南三陸町	農園活動の実践、満足度の把握	1.5	-	-
2	宮城県気仙沼市	農園活動の実践、満足度の把握	0.4	-	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福島県いわき市	間接補助	1.9	-	-
2	岩手県大槌町	間接補助	1.4	-	-
3	宮城県石巻市	間接補助	1.0	-	-
4	岩手県野田村	間接補助	0.9	-	-
5	宮城県登米市	間接補助	0.9	-	-
6	福島県南相馬市	間接補助	0.8	-	-
7	福島県浪江町	間接補助	0.7	-	-
8	宮城県仙台市	間接補助	0.7	-	-
9	宮城県南三陸町	間接補助	0.3	-	-
10	宮城県山元町	間接補助	0.2	-	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人まちづくり・ぐるっとおおつち	農園活動の実践、満足度の把握	1.4	-	-
2	NPO法人勿来まちづくりサポートセンター	農園活動の実践、満足度の把握	1.0	-	-
3	ふくしまの新たな農業推進協議会	農園活動の実践、満足度の把握	0.9	-	-
4	すみれ会	農園活動の実践、満足度の把握	0.9	-	-
5	NPO法人みんしん	農園活動の実践、満足度の把握	0.9	-	-
6	NPO法人北上経営総合研究所	農園活動の実践、満足度の把握	0.8	-	-
7	NPO法人公共政策支援団	農園活動の実践、満足度の把握	0.8	-	-
8	NPO法人まちづくりNPO新町なみえ	農園活動の実践、満足度の把握	0.7	-	-
9	荒浜実行組合	農園活動の実践、満足度の把握	0.7	-	-
10	グリーンウェーブ入谷構想促進委員会	農園活動の実践、満足度の把握	0.3	-	-